

辻井タカ子後援会だより

2006年
11月

第114号

辻井タカ子のホームページアドレス
<http://www.t-takako.jp>

発行者：日本共産党富木島後援会
連絡先：堀本：604-5820
：辻井：604-7914

テレビがいよいよ壊れた。2011年以降も対応できるのを買うか否かで悩んで、結果は5万円という安いものを探してきた。液晶で薄く、少し小型だがこれで十分。

しかし、2011年以降はデジタル化しないとテレビが見れないとはほんとに誰が考えたのか。この異常を是正してもらうためにも共産党を大きくしていきたい。



教育基本法についての学習会

11月25日(土) 午後1時30分~3時30分

しあわせ村視聴覚室

講師：愛知高校職員組合副委員長 高崎 和子さん

国会では教育基本法が議論されています。実態はどうなっているの？

子どもの教育は、いじめ問題、自殺問題との関係は？

「東海市9条を守る会」主催

9条の
会より

参加しま〜す！

12日のあいち赤旗まつりに富木島町在住の後援会員の三浦朗生さんが「OH! 人生男性合唱団」に参加します。

三浦さんは30年前、東海市に「コール東海」という名の合唱団をつくり、数々の歌を歌ってきました。中央舞台で歌います。聞きに来てください。

赤旗
まつり

こえ

会員さんの

介護や医療の負担はある程度は仕方がないと思うが、今の制度は無いところから取るうとしていく。あるところから取ら取ればいいんだ。特に自立支援法はおかしい。

北太子Aさん
体を悪くして外にはあまり出られない生活をしていく。年金からはおかまいたしに天引きしてきて一ヶ月分では生活できない。貧乏人はいつまでも貧乏人なのか。薬をして金もつけをしている人もあるかと思うと頭にくる。

外面Nさん

写真で紹介

上野台の新日鉄の
新社宅の完成間近



辻井タカ子議員の報告

=子どもがなぜ自殺を? =

楽しい盛りの子どものがなぜ自ら命を絶たなければならないのか。追い詰められた子どもを思うと心が痛みます。

日本共産党の志位委員長は、うつ病となるリスクのある子どもの率は、欧米に比べても約2倍にもなり、日本の子ども達は非常に強いストレスにさらされ、これがいじめやいじめ自殺の温床になっていることを国会質問で取り上げ、改善を求めています。

このストレスの大きな原因の一つが競争と、ふるい分けの学校教育にあることを指摘しました。折りしも各地の高校が有名国立大学 人合格といった受験競争に打ち勝つために、必修科目を履修させていなかった問題が明らかになりました。学校全体が過度の競争主義にさらされています。

政府は教育基本法を改正するのではなく、教職員が子どもの人間的発達を促す教育に力を注げるように、条件整備(少人数学級)をするなどに力を注ぐべきです。東海市の子どもたちを守っていきましょう。

=しあわせ村の送迎バス廃止に! =

今日2日、「循環バスをくまなく走らせる会」の人たちと一緒に、しあわせ村送迎バスの見直しについて保健福祉鑑、課長、主幹と懇談をしました。当局からバスを廃止する方針が示され、らんらんバスが走っていない地域の送迎や、各種団体の送迎がなくなります。急ぎよ16日午後4時から市長と懇談することになりました。送迎バスの存続をさせようではありませんか。参加をよろしくおねがいします。

シンポの報告…草の根からの声を!

10月22日の「安心して受けられる介護・医療をめざすシンポジウム」には150名の参加がありました。

パネリストの八田ひろ子さんは、家を売って医療費に当てようとしている人がいる。こういう人を助けるために社会保険制度があるのではないか。政治の大もとを変えることが今必要。介護、医療の実態を寄せ集め、市民に訴えていく、行政に持っていくという草の根から声を出していきましょうと呼びかけられました。参加者からは、来年の参議院選挙には八田ひろ子さんを当選させることが草の根の声を国に届けるパイプになるという発言に大きな拍手がありました。